



平成28年度 岩手県看護研究学会



平成28年9月30日に岩手県民会館で「いのちと暮らしを支える看護 ー看護の未来と可能性の創造ー」をテーマとし平成28年度岩手県看護研究学会が開催されました。「人口減少社会に向けて医療・介護職の仕事はどのように変わっていくか」のテーマで、国際医療福祉大学 高橋泰教授の特別講演をはじめとし、研究発表は36題で行われました。当院では、示説5題の発表をしましたので紹介します。

2016年11月30日



一般病棟 示説
「タイムスタディによる時間外業務の
要因探索」

外来 示説
「COPD患者の増悪時の
セルフケアマネジメント
に関連する問題」





コスモス病棟 示説
「排痰困難患者への体位
ドレナージ（側臥位）と
カフアシストを用いた
排痰の効果」

ひまわり病棟 示説
「吸気リーク法での発声に
よるコミュニケーション
を試みて」



回復期リハビリ病棟 示説
「回復期リハビリテーション
病棟における擦式手指消毒
の実態」



みなさん発表おつかれさまでした